



竹口大紀議員

保育所職員のあり方は

教育委員長 再編も含め安定させたい

問 町内の保育所では、正規職員の割合が非常に少なく、雇用形態が違う職員でも、職務が同じような内容だと聞く。

- ① 町保育所職員の雇用形態とそれぞれの人数は。
- ② 職務内容や権限、待遇にはどのような違いがあるか。
- ③ これらの職員の割合を、

今後どのようにしていくつもりか。

- ④ 保育士の雇用が不安定な状態で、保育環境を整えていけるのか。
- ⑤ 保育士の入れ替わりが頻繁に発生する中で、子どもが落ち着くのか。

答 伊澤教育委員長

① 雇用形態および人数は、

正職員31人・嘱託職員18人・臨時職員34人・パート職員21人。
正職員と嘱託職員はクラス担任を持ち、臨時職員とパート職員は担任の補助。ただし産休代替の臨時職員は担任を持つ。
② 条例や要綱に定められたとおり、待遇は雇用形態によって異なる。
③ 職員構成は大きな課題。保育士正職員の割合は、担任を持たない所長を除いて29%。
今後は、再編や新規採用などによって、正職員の比率を上げていきたい。
④ 職員数がぎりぎりでも、多様なサービスも限界。再編を含めて改善を検討していきたい。
⑤ 早朝や延長保育で、先生が毎日変われば当然落ち着かない。再編とあわせてサービスを拠点化することで改善したい。



保育所で食事をする子ども

① 本町や大山恵みの里公社が行っている、農工商連携の事例にはどのようなものがあるか。
② 今後どのような農工商連携の取り組みを計画しているか。
③ 隠岐の島の海士町では、町外の人材を新商品開発

問 全国各地で農工商連携の成功事例が多数出ている。
農業・林業・畜産業・水産業・食品加工業・商業・観光業や、自治体・研究機関・商工会・NPO・大学などが連携し、技術やノウハウを組み合わせ、新商品を開発する動きが活発である。
① 本町や大山恵みの里公社が行っている、農工商連携の事例にはどのようなものがあるか。
② 今後どのような農工商連携の取り組みを計画しているか。
③ 隠岐の島の海士町では、町外の人材を新商品開発

町の農工商連携は

町長

独創的な発想が決め手



大山恵みの里オリジナル商品

の専門職で採用している。この事例のように、町民の目線では気づきにくい特産品を発掘し、農工商連携を促進するような取り組みをする考えがあるか。
② こんにゃくの生産、ラベンダーの産地化などを農工商連携につなげたい。そのためにも、従来の枠にとられない斬新で独創的な発想が必要だと考える。
③ 米年稼働予定の、農産物加工施設の工場長が県外の人に決定した。

答 森田町長

① 最近の事例として、3点を紹介する。

町内の落花生を広島県のメーカーが加工する「大山ピーナッツ」。

玄そばを島根県の製麺所が加工する「大山そば」。

酒米を隣町の酒蔵が醸造する「特別純米酒 大山恵みの里」。

早急に商品開発専門職を採用するのは難しいが、町外で活躍する町内出身者の提案を集めたりするのも一つの手。

地元の視点よりも外からの視点で、新しいものを見つけてアイデアを参考にしたい。